

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件(O157)の報告があり、今年の累計は6件となりました。

例年、気温の高い時期に報告数が多くなっており、注意が必要です。手洗いの励行、食品の十分な加熱など感染予防対策を徹底しましょう。(次頁参照)

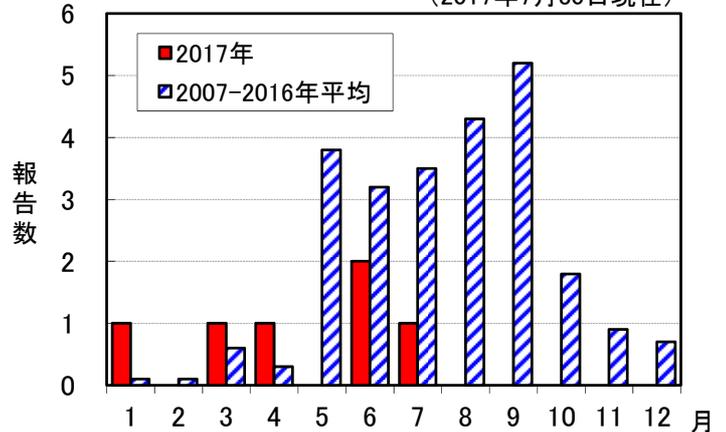
2. RSウイルス感染症

定点当たり1.42人の報告があり、前週の約3.8倍に増加しました。

例年冬季に流行していましたが、ここ数年は夏から秋にかけて報告数が増加する傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。手洗いの励行や咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)

(2017年7月30日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.01	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.38	0.70	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	1.67	1.46	↘
	感染性胃腸炎	71	2.96	3.80	↘
	水痘	8	0.33	0.65	
	手足口病	188	7.83	3.11	⇒
	伝染性紅斑	1	0.04	0.30	
	突発性発しん	8	0.33	0.52	
	百日咳	-	-	0.08	
	ヘルパンギーナ	12	0.50	2.03	↘
	眼科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.81
RSウイルス感染症		34	1.42	0.20	↑
急性出血性結膜炎		1	0.13	-	
流行性角結膜炎		9	1.13	1.10	
細菌性髄膜炎		-	-	0.03	
無菌性髄膜炎		-	-	0.17	
マイコプラズマ肺炎		1	0.14	0.20	
基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	89	男性(30歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(40歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	女性(10歳代)・O157
5	アメーバ赤痢	1	9	女性(50歳代)
5	梅毒	1	35	男性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																					第26週
広島市	第26週	-	17	68	148	5	87	2	8	-	11	3	3	-	15	-	-	-	-	-	-
	第27週	-	17	48	185	3	132	9	12	-	18	3	6	1	12	-	-	-	-	-	-
	第28週	2	13	50	153	11	193	3	9	-	14	6	6	-	12	-	-	1	-	-	-
	第29週	1	14	63	110	8	196	1	4	4	20	3	9	1	8	-	-	-	-	-	-
	第30週	-	9	40	71	8	188	1	8	-	12	2	34	1	9	-	-	1	-	-	-
定点当たり	第26週	-	0.71	2.83	6.17	0.21	3.63	0.08	0.33	-	0.46	0.13	0.13	-	1.88	-	-	-	-	-	-
	第27週	-	0.71	2.00	7.71	0.13	5.50	0.38	0.50	-	0.75	0.13	0.25	0.13	1.50	-	-	-	-	-	-
	第28週	0.05	0.54	2.08	6.38	0.46	8.04	0.13	0.38	-	0.58	0.25	0.25	-	1.50	-	-	0.14	-	-	-
	第29週	0.03	0.58	2.63	4.58	0.33	8.17	0.04	0.17	0.17	0.83	0.13	0.38	0.13	1.00	-	-	-	-	-	-
	第30週	-	0.38	1.67	2.96	0.33	7.83	0.04	0.33	-	0.50	0.08	1.42	0.13	1.13	-	-	0.14	-	-	-
全国	第28週	0.20	0.83	2.37	4.87	0.35	8.27	0.11	0.55	0.01	2.24	0.52	0.57	0.01	0.88	0.02	0.04	0.25	-	0.04	0.04
	第29週	0.19	0.71	1.75	3.77	0.29	8.93	0.08	0.49	0.01	2.23	0.44	0.71	0.02	0.82	0.02	0.03	0.25	0.01	0.02	0.02

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 紅斑 咽頭炎	4	女	2017/06/20	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 下気道炎 鼻炎	0	女	2017/06/20	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱 上気道炎	0	男	2017/06/23	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.6) 気管支炎	0	男	2017/06/24	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.1) 鼻水 咳嗽 哺乳不良	0	女	2017/06/25	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0)	0	男	2017/06/26	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
その他の消化器疾患	腹痛	1	男	2017/06/03	糞便	レオウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう。

腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、患者や保菌者の汚染された手指を通して二次的に感染します。特に乳幼児や高齢者は重症化しやすいので注意が必要です。

予防のために、次のことに特に注意しましょう。

- トイレの後、調理の前、食事の前には手洗いを励行しましょう。
- 食品は衛生的に取り扱い、調理器具はよく消毒しましょう。また、肉・レバーなどは中心部まで十分加熱し、生食は控えましょう。
- オムツの取り扱いには十分注意しましょう。
- 家庭用プールなどを介して感染することもあるため、使用する際は衛生管理に十分注意しましょう。

夏休みにおける海外での感染予防について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html
(海外で注意すべき感染症とその予防対策について掲載されています。)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第30週(7月24日~7月30日)